



パトロール出発前のみなさん

特徴・ポイント

防犯パトロールでの確認点は多岐にわたります。放置自転車・放置車両・不法投棄物のチェックおよび散乱ゴミの撤去、自治会が管理している約300灯の防犯灯について、防犯灯の電球切れの確認をしながら巡回しています。

特に効果を上げていける点が不法投棄物の投棄防止です。パトロール開始前では自治会区域内に放置自転車、不法投棄物が多数あったということでしたが、この防犯パトロール活動により、パトロールで見つけたら警察に通報して撤去してもらった結果、放置自転車や不法投棄がかなり減ったということです。

また、夜道を明るく照らして



終了後の報告会

いる防犯灯も、不法投棄防止と防犯に役立っています。

その結果、現在では自治会区域内での放置車両、不法投棄物がかなり減り、また、防犯灯にも気を配ることにより、犯罪が発生する恐れのある場所を把握し、今後設置すべき場所の計画にも役立っています。

課題・展望

この防犯パトロールが、自治会会員間の情報交換等のコミュニケーションにも役立っていることはいうまでもありませんが、防犯パトロールの参加者が、ある程度固定した自治会会員に頼ってしまっているという現状が悩みだそうです。

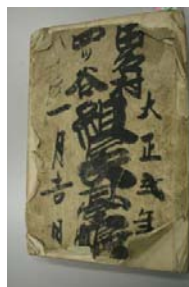
これを解消するためには、地域の住民と交流を深めて自治会活動を知ってもらおうの一番と、夏の盆踊りと9月上旬に行われる石神社の祭典での活動に力を入れているということです。

防犯パトロールによるきれいで、安心なまちづくりを目指して

事例の概要

自治会法人田名四ツ谷自治会の歴史は古く、大正2年にはすでに現在の自治会の前身が組織され、活動を始めています。田名四ツ谷自治会は、犯罪を未然に防ぐ取り組みとして、平成16年から防犯パトロールを行っています。この防犯パトロールは、当時の自治会長が発案で始められ、毎月2回隔週の木曜日に田名四ツ谷児童館に集まり、パトロールメンバーが15人程度で3コースに分かれて巡回しています。自治会区域内を徒歩で巡回するほかに、青色パトロールカーを借りて広報活動も行いながら巡回します。また、巡回を行いながら、すれ違う人へのあいさつ等の声かけ活動やゴミ拾いを行っています。

パトロール終了後は、その結果を報告し、放置自転車等があった場合には、その場所等が報告されます。



大正2年の貴重な会議録

体験・取材した職員から一言！！



防犯パトロールに参加した際に、バス停にゴミが散乱してなく、とてもきれいに保たれていた光景を見た時、地域の皆さんの街づくりへの意気込みを感じ取りました。また、貴重な会議録を見させていただきまして、ありがとうございました。(市史編さん室 稲垣)



ある役員さんの「子どもは地域で守る」といった力強い言葉が印象的でした。地域を愛し、子どもを愛する気持ちが、子どもたちに代々受け継がれ、美しく安全な田名四ツ谷自治会が益々発展することを祈っています。(農林課 溝口)

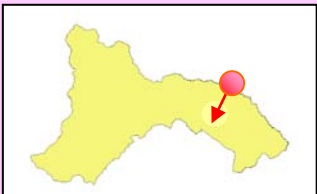


活動に参加して印象的だったことは、地域の防犯面での課題と将来どうすべきかを考えて防犯パトロールを実施している姿です。防犯パトロールは防犯面での貢献だけでなく、地域住民同士の交流の場であり、非常に有意義だと感じました。(生活支援課 水野)



人生初の自治会活動でした。今回は、難しい仕事ではなく、楽しくお手伝いをさせて頂きました。隔週であっても、勤めている方にとっては継続することが大変だろうと思います。皆さんの熱意が伝わる体験でした。(スポーツ課 菊地)

団体の基礎DATA



団体名◇自治会法人田名四ツ谷自治会
世帯数◇1,357世帯
代表者名◇鈴木 文昭さん

